



2023年2月8日

各位

会社名 ニプロ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 佐野 嘉彦  
 (コード番号: 8086 東証プライム)  
 問合せ先 常務取締役経営企画本部長 余語 岳仁  
 (TEL 06-6372-2331)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年11月9日に公表した2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の通期連結業績予想ならびに期末配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

## (1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	551,800	17,700	26,600	15,600	95円65銭
今回修正予想(B)	549,000	19,000	18,400	10,000	61円31銭
増減額(B-A)	▲2,800	1,300	▲8,200	▲5,600	—
増減率(%)	▲0.5	7.3	▲30.8	▲35.9	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	494,789	23,882	27,583	13,455	82円50銭

## (2) 修正の理由

売上高につきましては、想定為替レートを1ドル135円としていたところ、11月以降は想定為替レートを上回る円高傾向へと転じたため、期中平均レートが想定為替レートより円高方向になる見通しとなりましたので、下方修正いたします。

一方で営業利益につきましては、原材料およびエネルギー価格の高騰による影響をうけつつも、改善傾向にある運送費の減少と、円高傾向へ転じたことによるドル建ての販管費の減少をうけまして、若干ながら上方修正いたします。

経常利益につきましては、第2四半期連結累計期間までの円安傾向により、外貨建て資産および負債の換算替えによる為替差益を多く計上しておりましたが、前回の業績予想修正時以降、円高傾向へ転じ、当第3四半期累計期間の期末日となる12月末日相場による換算替えによってその額を大きく減らしました。円高傾向が今後当決算期の期末日までに再び円安方向に戻ることは想定しがたく、さらに緩やかな円高傾向が継続するとの見通しからさらなる為替差損の計上も予想されるため、経常利益は下方修正いたします。

上半期に大きく出遅れた医薬事業関連子会社の収益が生産量の増加に伴い下期にかけて徐々に回復してはおりますが、依然として世界的インフレーションの状況が継続するなかでは利益の伸びも限定的となる見通しです。そうした中で、コロナ禍以降の事業環境の変化によって必ずしも保有する必要のなくなった資産や事業に供しない資産、あるいは投資有価証券の売却等によってある程度利益の補填に努めるものの、為替差損による利益の減少を補うにはいたらないとして、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして

も下方修正をいたします。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 2023年3月期期末配当予想の修正

	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想(2022年11月9日)	13.50円	17.50円	31.00円
今回修正予想	—円	8.50円	22.00円
当期実績	13.50円	—円	—円
(ご参考) 前期実績	14.50円	12.50円	27.00円

### (2) 修正の理由

当社の配当方針は、連結当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)の75%と単体当期純利益の25%の合計額を配当の基礎となる利益額とし、2023年3月期についてはその35%を配当に充当する予定としております。今回の業績予想の修正に伴い、配当方針に従って計算した結果、誠に遺憾ではございますが、前回予想の1株当たり期末配当予想は17円50銭から9円減配の8円50銭となる予定です。

上記の予想は、本資料の発表日現在における事業環境において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上